

大切に守られてきた建造物を見学し、西東京市（下保谷）の歴史と文化を発見することができます。



©T&K/西東京市

① 民家

国登録有形文化財（建造物）平成30年3月登録。昭和元年建築で当時の姿をほぼそのまま残している。建物周りの屋敷林も含め、武蔵野の典型的な農家建物のたたくまいを感じてほしい。

② 天神社

下保谷村の鎮守。拝殿の壁には珍しい饅絵（漆喰画）が施されている。江戸期の建物で、平成29年市の指定文化財に指定。



③ 福泉寺

かつて下保谷地域で信仰の厚かった日蓮宗の寺で「三十番神」も祀っており、下保谷地域の歴史には欠かせない寺。今回は、本堂内の「三十番神神像」も拝観する。

④ 下保谷四丁目特別緑地保全地区

平成30年に全域が特別緑地保全地区となり、武蔵野の屋敷林の景観を後世に残しながら、市民団体などを中心に屋敷林を活用する活動が行われている。今回は、ケヤキをはじめとした新緑美しい屋敷林の景観とともに、市民団体が丹精込めて作りあげてきた「野草園」の花々も見学する。

